

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【大子町立依上小学校】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	1年 12人 2年 13人 3年 10人 4年 14人 5年 9人 6年 6人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① <u>教科名</u> (道徳・総合的な学習の時間) ② <u>行事名</u> (オリンピック・パラリンピック講演会) ③ <u>その他</u> (学級活動) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	スポーツやオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心の向上を図るとともに、自己を振り返り、自己実現を目指す意識を高める。
5 取組内容	<p>○ 「I'm POSSIBLE」を活用し、オリンピック・パラリンピックの理解・啓発を目指した授業</p>   <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの意義を理解できた。 <p>○ 人権に関する道徳の授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害をもった人との接し方を学習した。 <p>○ 自己実現に関する学級活動及び総合的な学習の時間の授業</p>   <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のキャリア形成につながった。

○ オリンピック・パラリンピック教育講演会



・障害を乗り越えて、自分自身に挑戦する心の強さや生き方を学んだ。

6 主な成果

- オリンピックやパラリンピックについて、どのようなものか具体的に知ることができた。高学年では平和の祭典等のことにも関心をもち、その価値や意味、そして自分たちにできることなどを考え、話し合うことができた。
- オリンピックやパラリンピックの選手の並々ならぬ努力や精神力に触れることで、これから様々なことに立ち向かっていく決意や勇気を得ることができた。

7 実践において工夫した点
(事業の特色)

- 実際にパラリンピックに2度出場している三浦浩氏を招いて、あきらめない生き方について講演会を行った。また、講演会だけでなく、ボッチャなどのパラリンピック種目の体験教室を行った。



8 主な課題等

- 講演会は素晴らしい方に来校していただいて、児童にとっても価値の高いものになった。しかし、オリンピック・パラリンピック教育全体に関しては、しっかりとした計画の基に行うだけの時間的な余裕がなかった。また、そのため、十分に教材等を活用することができなかった。

9 来年度以降の
実施予定

- オリンピック・パラリンピックが来年度に延期になったこともあり、引き続きオリンピック・パラリンピック教育を行うことで、自己実現や生涯スポーツにつながるようにしたい。
- パラリンピックの話（あきらめない心）を生かして人権教育やキャリア教育を行いたい。